

2024年11月14日

当院に入院しリハビリテーションを受けた患者さんへ

【過去の治療情報の調査研究への使用について】

博豊会東京脊椎病院では手術をされた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しています。この研究を実施することにより患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、プライバシー保護については法令などを順守して研究を行います。この研究にご了承いただけない場合は、末尾の問い合わせ先へご照会ください。同意の有無が今後の治療に影響することはありません。診療情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等はありません。

【研究課題】腰部脊柱管狭窄症に対する固定術後患者の予想された入院期間を超過させる要因としての術前の移動能力

【研究機関】医療法人社団博豊会 博豊会東京脊椎病院

【研究責任者】桐山魁生

【研究分担者】倉島彰人 遠藤敦士 飛山義憲

【研究機関長】森俊一

1)研究の目的と意義

この研究は、腰部脊柱管狭窄症に対して腰椎椎体間固定術を行った患者さんを対象に、手術前の移動能力と入院期間の関係を調査することを目的としています。この研究が明らかとなることで、患者さん一人一人の能力に合わせた入院中のケアプランを考えることができるようになります。

2)研究対象者

2023年10月1日～2024年9月30日までに当院にて腰椎椎体間固定術を受けた方を対象としています。

3)研究期間

臨床研究審査委員会承認日～2026年3月31日まで

※この研究は順天堂大学医療保健学部倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受け

て行われます。

4)研究方法

これまでの診療で診療録(カルテ)に記載されている年齢や入院日、診療内容、手術の方法などの情報を取得して行う研究です。対象となる方に新たにご負担いただくことはありません。使用する情報は個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関して博豊会東京脊椎病院内で厳重に管理します。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合は末尾の連絡先にお問い合わせください。この研究に参加している他の方の個人情報などお答えできない内容もあります。

5)使用する試料・情報

・研究に使用する試料

なし

・研究に使用する情報

匿名化した ID、年齢、性別、BMI、疾患情報、手術情報、手術時間、手術日、移動能力、治療成績、入院日数など。

6)資料・情報の保存

使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関して博豊会東京脊椎病院内で厳重に管理します。

7)研究成果の取り扱い

調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。同意を撤回した時にすでに研究成果が論文などで公表されている場合、公表された部分については同意を撤回することはできません。その後の二次利用を行う場合には同意を撤回したのものとして診療情報を含みません。

8)外部への試料・情報の提供

なし

9)利益相反

なし

10)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問がありましたらいつでもお問い合わせください。

〒121-0075 東京都足立区一ツ家 1-1-1

医療法人社団博豊会 博豊会東京脊椎病院

TEL : 03-5856-7536 リハビリテーション科 桐山魁生